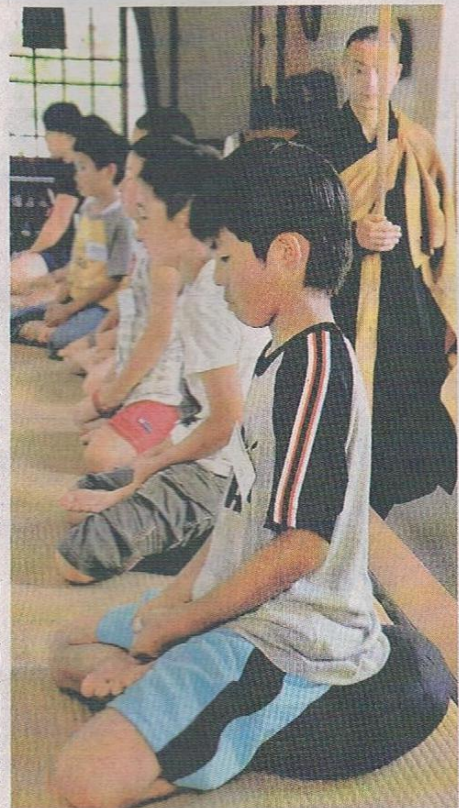


仁叟寺で座禅を組み、精神を集中させる児童



静寂に包まれ 座禅で精神統一

高崎・仁叟寺

禅に身近に親しんでもらおうと、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)で30、31の両日、「子供禅の集い」が行われた。児童約50人が、1泊2日の「修行」を体験した。集いは夏休み期間中の小学生を対象に毎年開かれ、ことしで31回目。境内を清掃する作業や住職らによる法話、座禅など

を通じ、規則正しい生活習慣を身に付ける。

本堂に泊まり 礼儀作法学ぶ

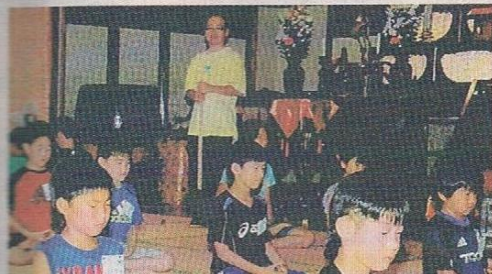
高崎・善龍寺

小学生が座禅や読経などお寺の生活を体験する「子ども寺子屋」が30、31の両日、高崎市箕郷町生原の曹洞宗満行山善龍寺(大木謙哉住職)で開かれ、43人の児童が参加した。

初日は20分間の座禅に挑戦し、児童は足を組んで

で組織する布薩会が主催。同会の寺院が持ち回りで開催し、34回目。児童は本堂に1泊し、日常生活の規律や礼儀作法を学んだ。2日間で4

回の座禅を行ったほか、般若心経の朗読にも挑戦した。初参加した高崎中央小5年の掛川菜々(10)は「大変なけど面白かった」と笑顔を見せた。



読経や掃除 「少し緊張」

安中・久昌寺

児童が寺の生活を泊ま

で精神を集中させた。静寂に包まれた座禅堂には、警策を打つ音やセミの鳴き声が響き渡っていた。

高崎吉井小4年の新井爽太君(10)は「足がしびれ、1時間以上に感じた」と額に汗を浮かべながら話した。

静寂に包まれ座禅で精神統一

高崎・仁叟寺

禅に身近に親しんでもらおうと、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)で30、31日の両日「子供禅の集い」が行われた。児童約50人が、1泊2日の“修行”を体験した。

集いは夏休み期間中の小学生を対象に毎年開かれ、ことしで31回目。境内を清掃する作業や住職らによる法話、座禅など

を通じ、規則正しい生活習慣を身に付ける。初日は20分間の座禅に挑戦し、児童は足を組んで精神を集中させた。静寂に包まれた座禅堂にセミの鳴き声が響き渡っていた。

高崎市吉井小4年の新井爽太(10)は「足がしびれ、1時間以上に感じた」と額に汗を浮かべながら話した。